

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2005-534945(P2005-534945A)

【公表日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-045

【出願番号】特願2005-506103(P2005-506103)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/70 (2006.01)

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/64 B

G 0 1 N 21/64 F

C 1 2 M 1/00 A

C 1 2 M 1/34 A

C 1 2 M 1/34 Z

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/04

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 Q 1/70

G 0 1 N 21/78 C

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月31日(2006.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サンプル中の構成要素をアッセイする方法であって、当該方法が以下のステップ：

サンプルを照射で励起し、ここで当該サンプルが以下の：

未知標的、病原体要素、毒素、及びコンビナトリアル・ライブラリーの構成要素の

少なくとも1つ、

少なくとも1のプローブ、及び

少なくとも1の蛍光タグ、

を含み；

上記サンプルのサブボリュームから蛍光を計測し；そして

当該蛍光のゆらぎを分析する

を含む、前記方法。

【請求項 2】

前記サンプルが、以下の：

- a. 複数の固有質量増大成分、ここで各固有の質量増大成分が固有の質量を有する
- b. 複数の標的；
- c. 複数の蛍光タグ；及び
- d. 複数のプローブ；

のうちの少なくとも1つをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記サンプルが、複数の固有プローブを含み、ここで各固有プローブが固有の蛍光タグと固有の結合部位を含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記サンプルが、複数の固有質量増大成分、(ここで各固有質量増大成分は、固有の質量を有する)、複数の標的、複数の蛍光タグ、及び複数のプローブを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記分析が、以下の：

a) 蛍光強度のゆらぎの大きさと、蛍光ゆらぎの相関期間のうちの少なくとも1を測定し、

b) 前記サンプルの相互相関関数と前記サンプルの自己相関関数のうちの少なくとも1を含む相関関数を測定し、

c) モーメント解析、フーリエ変換解析、及びパワー・スペクトル分析の内の少なくとも1を含む分析を行い、

d) 前記サンプルの相互相関関数と前記サンプルの自己相関関数のうちの少なくとも1を含む相関関数を測定し、そして相関関数の減衰時間を測定し、

e) 前記サンプルの相互相関関数と前記サンプルの自己相関関数のうちの少なくとも1を含む相関関数を測定し、そして相関関数の時間 0 値を測定し、

f) 前記サンプルの真の自己相関関数を測定し、

g) 前記サンプルの真の相互相関関数を測定し、そして

h) 前記サンプルの真の相関関数を測定し、ここで当該測定が以下の：

蛍光相関分光装置からサンプルの計測された相関関数を取得し、そして当該計測された相関関数に補正アルゴリズムを適用することを含む、

のうちの少なくとも1つを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記プローブが、複数の固有プローブであって、固有蛍光タグ及び固有ビーズのうちの少なくとも1を含む固有プローブを含み、そして前記分析が以下の：

前記複数の固有プローブの各々の粒子割合、

前記複数の固有プローブの各々の自己相関関数、及び

前記複数の固有プローブの各々の相互相関関数

の内の少なくとも1を測定することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

以下の：

複数の固有ビーズ、ここで各固有ビーズが異なるサイズを有し；及び

固有標的に結合するように適合される複数のプローブ、ここで当該プローブは、上記ビーズに結合する

を含むキット。

【請求項 8】

前記キットがさらに、複数の蛍光タグを含む、請求項 7 に記載のキット。

【請求項 9】

サンプルの真の相関関数の測定用コンピューター・プログラムを記録するコンピューターが読み込み可能な媒体を含む製品であって、当該コンピューター・プログラムが以下の

：

該サンプルの計測された相関関数を取得するための第一コード・セグメント；及び計測された相関関数に補正アルゴリズムを適用するための第二コード・セグメント；を含む、前記製品。

【請求項 10】

サンプルの真の相関関数の測定用システムであって、当該システムが、サンプルに関する情報を記憶するメモリー装置、並びに蛍光相関分光装置からのサンプルの計測された相関関数を求め、そして計測された相関関数に補正アルゴリズムを適用する指令でプログラムされるプロセッサを含む、前記システム。

【請求項 11】

前記サンプルの真の相関関数の測定用蛍光相関分光装置であって、該装置が、以下の：
励起源；
当該サンプルの蛍光を計測する第一検出器と第二検出器；
請求項 10 に記載されるシステム
を含む、前記装置。